

(別記様式2)

公の施設のあり方検討結果個表

施設の名称	ぐんまこどもの国児童会館		
所在地	太田市長手町480		
所管部局・課	こども未来部子育て・青少年課	現在の運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者
担当係	子育て支援係	内線	2623

1 施設の設置根拠(法律、条例等)

・児童福祉法第40条
・ぐんまこどもの国児童会館の設置及び管理に関する条例、同施行規則

2 施設の役割

(1) 設置目的

児童の健全な育成を図るため、県下の児童健全育成の活動拠点として児童福祉法第40条に規定する児童厚生施設(大型児童館)を、「ぐんまこどもの国(県立金山総合公園)」内の中核屋内施設として設置

(2) 設置当初の状況

児童会館の管理運営主体となる「財団法人群馬県児童健全育成事業団」(出資/県:66.7%、太田市33.3%)が平成2年6月に設立され、同年10月に児童会館が開設される。館内には、幼児から楽しめる科学遊びの装置がある「サイエンスワンダーランド」、大型プラネタリウムの「スペースシアター」、こどもが造形活動を楽しむ「クラフトルーム」などがある。

(3) 施設を取り巻く現状

県内唯一の大型児童館として事業を展開し、平成28年5月には入館者900万人を達成した。開館から28年目を迎え、良質な遊びを提供し安心して過ごせる施設として、また、県内各市町村児童館のセンター機能、及び地域で子育て支援を行う民間活動団体の拠点としての役割を担っている。

3 施設の概要

設置年月日	平成2年10月20日
敷地面積(所有者)	2,012.34㎡(群馬県)
主な施設(床面積、階数等)	鉄骨鉄筋コンクリート造3階建 延べ床面積4,150.41㎡
建設費	2,287,998千円
備考	1階多目的トイレ改修工事(H28年度)、エレベーター改修工事(H29年度)、スペースシアターマルチ交流スペース化工事(H29年度)

◇入園料・利用料等

(円) ◇利用時間(休館日)

区分	金額	
スペースシアター観覧料 一般	300 (団体240)	9:30~17:00 ※研修室・多目的ホール 9:00~17:00
同 小中学生	無料	(休館日 月曜(祝日の場合翌日、夏休み等の長期休業中の月曜は除き指定日に振り替える)、12/29~1/3)

4 施設における実施事業

○育成事業
・長期休暇や季節ごとに企画する各種事業に関する業務
・施設の機能を生かした児童健全育成活動に関する業務
○推進事業
・県内児童館の活動促進や職員の資質向上のための研修会に関する業務
・移動児童館による地域の子育て環境づくりの充実に関する業務
○維持管理
・児童会館の施設(研修室・多目的ホール)及び附属設備の貸出し、使用の承認等に関する業務
・児童会館の施設及び附属設備の維持管理に関する業務

5 管理運営コストの状況

(千円)

区 分	30年度(当初予算額)	29年度(決算額)	28年度(決算額)	27年度(決算額)	26年度(決算額)
歳 入(①)	4,869	14,642	4,523	4,213	4,833
使用料	3,900	3,086	4,070	3,724	4,293
財産収入	0	70	0	0	0
雑入(電気料等)	969	588	453	489	540
国庫補助金	0	10,898	0	0	0
歳 出(②)	153,800	177,854	155,463	149,378	209,386
指定管理料	153,400	152,000	150,500	149,000	153,150
委託料(指定管理料を除く)	400	1,631	0	378	0
使用料賃借料	0	181	1,922	0	0
需用費	0	4,688	1,939	0	0
備品費	0	0	134	0	0
工事請負費	0	19,354	968	0	56,236
歳入・歳出の差額(①-②)	▲ 148,931	▲ 163,212	▲ 150,940	▲ 145,165	▲ 204,553
歳入・歳出の主な増減理由	・老朽化施設・設備の修繕、更新を順次実施しており、規模により支出が増大。 ・国庫補助、臨時交付金、基金等、活用できる財源によって、年度により歳入額に差が生じる。				

◇指定管理者の収支状況(指定管理業務に係る部分のみ)

(千円)

区 分	30年度(当初計画額)	29年度(決算額)	28年度(決算額)	27年度(決算額)	26年度(決算額)
収 入(①)	153,880	152,486	151,248	155,652	154,386
指定管理費	153,400	152,000	150,500	149,000	153,150
県事業委託料	0	0	295	5,634	288
雑入(受取利息等)	480	486	453	1,018	948
支 出(②)	153,880	153,630	150,981	159,759	157,828
人件費	89,991	89,682	92,516	95,403	93,951
光熱水費	11,043	12,059	11,082	12,092	13,016
租税公課費	115	29	60	25	59
委託費	30,495	27,631	0	0	0
その他	22,236	24,229	47,323	52,239	50,802
収支(①-②)	0	▲ 1,144	267	▲ 4,107	▲ 3,442
歳入・歳出の差額、収支の主な増減理由	・指定管理料の削減により収入減。 ・委託事業の契約方法の見直し、外部発注の減など運営の効率化を進め支出を抑制。				

※ 指定管理者の指定管理業務に係る収支

6 職員の状況(各年度4月1日現在)

(人)

	30年度	29年度	28年度	27年度	26年度
常勤職員	21	22	22	22	18
非常勤職員	0	0	0	0	4
合 計	21	22	22	22	22

7 施設利用の状況

区 分	30年度※	29年度	28年度	27年度	26年度
年間利用者総数(人)	90,069	315,031	315,441	349,739	350,267
有料利用者数(人)	0	0	0	0	0
無料利用者数(人)	90,069	315,031	315,441	349,739	350,267
目標利用者数(人)	370,000	370,000	370,000	360,000	380,000
施設稼働率(%)					
稼働率対象施設(設備)					
利用者の主な増減理由	平成28～29年度にかけて実施したエレベーターの改修工事や平成29年度のスペースシアターの改修、台風による閉園の影響などにより、この2か年は例年に比べ入館者減となった。入館者数は天候により大きく変動する。				

※ 見込数又は途中実績

8 必要性及び管理運営方法についての方向性

区 分	内 容
施設の必要性	<p>県内の児童館及び児童健全育成活動のセンターとしての役割を担い、児童、子育て家庭、子育てに係る地域活動団体などへ幅広く支援を行い、本県の児童健全育成には欠かせない施設である。開館28年目を迎え、県内一円から多数来館し、気軽に利用できる施設として、広く子どもや親に愛され、存在意義は高い。</p> <p>よって、県の施設として現状どおり存続することが適当である。</p>
業務等の見直し	<p>児童健全育成事業の実施について十分な成果を上げるとともに、効率的な運営を推し進めており、当面現状の管理運営方法を維持することが妥当である。</p> <p>ただし、施設設備の修繕・更新時期を迎える中、効率的な改修整備事業(ハード)とともに、更新設備等を活かした魅力あるソフト事業を企画し、積極的なPRを行い、集客増を目指す事業展開も必要である。</p>